

# Hello! FUJISEI

No.67

## 老後生活は病気との付き合い

# 他の年代と比較して 高い高齢者の受療率

連休に、田舎で一人で暮らしている高齢の父親を連れて温泉に行き、背中を流そうとした時、いつの間にか大きく曲がっていることに気づきました。しきりに手足がしびれると訴え、入退院を繰り返しています。老後生活は、病気とどのように折り合いをつけて暮らしていくかということかもしれません。

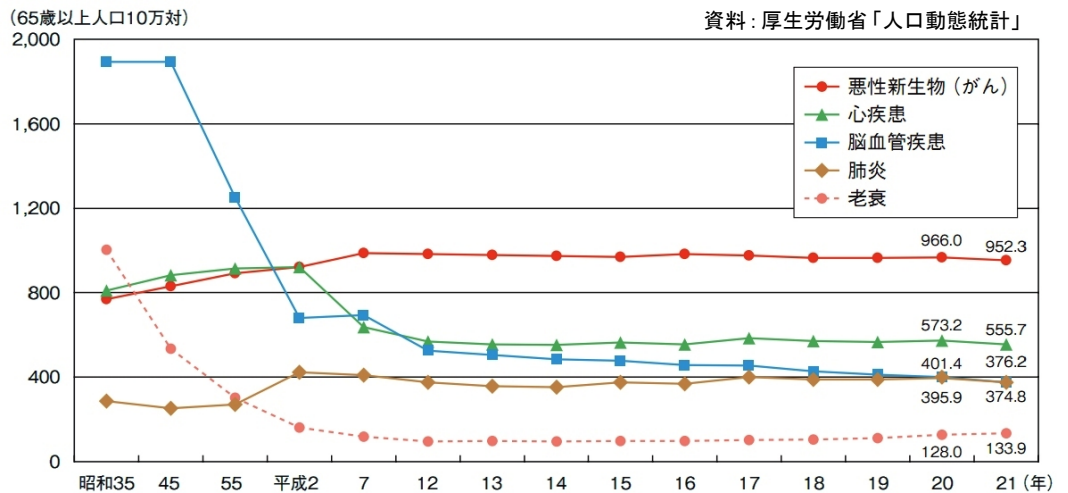
「平成23年版 高齢社会白書」から、高齢者の健康についてみると、65歳以上の受療率（高齢者人口10万人当たりの推計患者数の割合）は、平成20（2008）年において、入院が3,301、外来が10,904となっており、他の年齢階級に比べて高い水準にあります。近年は減少傾向となっていま

す。65歳以上の高齢者の受療率が高い主な傷病をみると、入院では、「脳血管疾患」「悪性新生物（がん）」、外来では、「高血圧性疾患」「脊柱障害」となっています。

また、高齢者の死因となった疾病をみると、死亡率（高齢者人口10万人当たりに対する死亡者数の割合）

は、平成21（2009）年において、やはり「悪性新生物（がん）」が952.3と最も高く、次いで「心疾患」555.7、「脳血管疾患」376.2の順になっており、これら三つの疾病で高齢者の死因の約6割を占めています。その推移をみると、死亡率が高かった脳血管疾患が平成に入り大きく減少していることがわかります。

65歳以上の高齢者の主な死因別死亡率の推移



主な傷病別にみた受療率（人口10万対）

		男				女			
		65歳以上	65~69歳	70~74歳	75歳以上	65歳以上	65~69歳	70~74歳	75歳以上
入院	総数	3,186	1,865	2,526	4,630	3,387	1,291	1,924	5,120
	悪性新生物	473	337	458	588	236	170	203	286
	高血圧性疾患	15	5	6	28	39	4	8	71
	心疾患(高血圧性のものを除く)	164	76	118	261	184	36	60	317
	脳血管疾患	555	250	396	893	653	130	252	1,103
外来	総数	10,484	8,031	10,826	12,156	11,218	9,024	12,001	11,981
	悪性新生物	484	340	493	589	234	227	254	228
	高血圧性疾患	1,293	956	1,287	1,556	1,706	1,101	1,562	2,080
	心疾患(高血圧性のものを除く)	406	245	368	555	316	144	237	439
	脳血管疾患	376	218	346	517	315	129	248	440
	脊柱障害	1,125	677	1,162	1,445	1,126	775	1,272	1,238